

# A FAITH CALLED CHAOS



Logan Allred ñ vocals // Dan Hearne ñ guitar // Adam Bertholdi ñ keyboards  
Zach Jobin ñ drums // Joe Trujillo ñ bass // Austin Terrill ñ guitar

「ハードコア、オルタナティブ、Radiohead風のギターワーク、しなやかなヴォーカル、ドライブの効いたベース、パンチの効いたドラム、そして技巧的な歌詞が、しびれるような融合を見せる。」 -DallasTexasMusic.com

今日のポスト・ハードコアの狂気と、70年代オールドスクール・ロックのほとぼしる感情がブレンドしたデビューLP、『Forgive Nothing』は、「Circa 1988」や「Boxing With Bayonettes」といった 大胆不敵な楽曲を通じて、多岐に渡るハードコアをルーツとして持つ彼らのバックグラウンドが明確に示されたアルバムだ。

『Forgive Nothing』はダラス特有の379 Productionのスタジオで3ヶ月の時間をかけてレコーディングされた。プロデューサーには (Society's Finest, Legions Will Fall, Bloodties, They Came Burning等を手掛けた) D. Braxton Henry、マスターリングには (Cave In, Converge, Dillenger Escape Plan, Jets to Brazil, Alkaline Trio, Hatebreed等を手掛けた) Alan Douchesを向えた。

2001年の冬にダラスのクラブシーンからスタートし、独特なスタイルを持っていた当時と言うメタルコア・バンド、A Faith Called Chaosは、Thursday、Every Time I Die、Botch、ConvergeやCave Inらのバンドのファンの心をつかんだ。

2002年にはカウンターインテリジェンス・レコーディングスでEP、「Beached Life Hopes」をレコーディングし、ファンとメディアから高い評価を受け始める。Shoutweb.comは、2002年に最も注目するバンド トップ5の一つにこのバンドを上げ、“「Bury the Witness」や「Something Has To Be Said For Potentials」などの曲からも分かるように、A Faith Called Chaosはエッジの効いたフックと圧倒的な緊迫感を内包したリフを融合させ、Will HavenやGradeのようなバンドの要素を彷彿とさせる”とこのEPを称賛した。オルタナティブ プレス誌は2003年Vans Warped ツアーの選り抜いた公演日に彼らがプレーできるよう後援し、同誌は10月3日#183号で次のように書いている “. . . A Faith Called Chaosはカウンターインテリジェンス・レコーディングスからの1枚目のアルバム、「Beached Life Hopes」で熱狂的に絶叫しまくり、全てのポスト・ハードコア バンドがありきたりではないことを証明した。このバンドはパワー適量のロックとメタルからも、初期のGradeを思い出させる”。

この夏のVans Warped Tour '04でA Faith Called Chaosを要チェック！

For more information visit: [www.volcoment.com](http://www.volcoment.com) // [www.afaithcalledchaos.com](http://www.afaithcalledchaos.com)

A&R: Ryan Immegart // [rimmegart@volcom.com](mailto:rimmegart@volcom.com)



Volcom Entertainment / 1740 Monrovia / Costa Mesa / CA / 92627 / USA